

マーチングバンド部門
【コンテスト】
実施規定・審査規定

大会における著作権等について

大会参加における著作権は著作権法に基づくものであり、大会に参加する団体はこの著作権法を遵守しなければなりません。

以下の事項はあくまでもその一部を補助的なものとして明記してありますが大会に参加する団体は法律で定められた事項を遵守することが必要です。大会で使用する曲について万が一、版元とのトラブルが生じた場合は団体の責任の下に処理していただきますのでご承知おきください。

【肖像権について】

プロップなどに人物画、キャラクター等をデジタルコピーまたは複写して使用する場合は肖像権の使用許諾が必要です。

【音楽著作権使用許諾申請について】

使用曲に音楽著作権使用許諾申請が必要かの有無を確認します。

(1) 市販の楽譜を指定の編成で利用する……………音楽著作権使用許諾申請の**必要がない**

※市販の楽譜を使用する場合は、購入を証明する（領収証等）のコピーを添付し提出して頂きます。

日本国外から直接購入された楽譜は演奏できない場合もございますのでご注意ください。

(2) 市販の楽譜をアレンジして利用する……………音楽著作権使用許諾申請の**必要がある**

⇒使用許諾を証明する書類を提出すること。

※市販の楽譜にマーチングパーカッションを加えるなど、指定の編成を変えて利用する場合は、使用許諾が必要です。

(3) 原曲を自らアレンジした楽譜を利用する……………音楽著作権使用許諾申請の**必要がある**

⇒団体ごとに原曲の作曲者または著作権を持っている出版社に対して編曲使用許諾申請を行ってください。（使用料等の金額並びに支払方法も提示される事があります。）

尚、著作権は著作者の死後70年を経ると消滅する事が原則ですが、外国曲の中には、第二次世界大戦の期間に相当する約10年を延長して保護する必要がある楽曲が多く存在します（戦時加算）。

①2021年時点で編曲許諾が取れない可能性の高い作曲家

バーンスタイン…「ウエスト・サイド・ストーリー」など

コーブランド…「アパラチアの春」など

ストラビンスキー…「火の鳥」など

②他にも編曲許諾が取れない可能性があります。

編曲許諾申請は（JASRAC・日本音楽著作権協会 ほか）が公開している楽曲データベースを参照した上で、著作権を持っている出版社に、必ず事前に確認をとってください。

⇒使用許諾を証明する書類を提出すること。

尚、著作権を所有している出版社によっては公式の許諾用書式がない場合も想定されますが、その場合は、著作権所有の出版社名、担当者名、連絡先、許諾に関する対応をされた期日等を記入し、許諾に要した金額の領収書等（コピー可）を添付してご提出ください。

(4) 自作曲を利用する……………音楽著作権使用許諾申請の**必要がない**

※上記の申請は、参加手続きまでに申請が終了していること。

【楽譜の複製・コピーについて】

市販の楽譜をコピーして使用する場合や、楽譜データをデジタルコピーしたりプリントアウトしたりして使用する場合は、著作権者の許諾が必要です。著作権管理団体（JASRAC ほか）にお問い合わせください。

※社会人の活動はもちろん、学校の部活動で利用する場合でも著作権者の許諾は必要です。

※JASRAC の管理楽曲については、複製部数が 100 部までの場合、1 曲につき歌詞・楽譜それぞれ 1,600 円（消費税抜き）です。

※高等学校までの教育機関での楽譜コピーについては、1 曲につき歌詞・楽譜それぞれ 400 円（消費税抜き）となる減額措置が適用される場合があります。

※外国曲の場合は指し値となるため、減額措置が適用されないほか、一般的に高額となりますのでご注意ください。

不明点は、以下にお問い合わせください。

一般社団法人日本マーチングバンド協会(JMBA) 03-6231-6033

E-mail : jmba@japan-mba.org

一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC) 出版課 03-3481-2170

<http://www.jasrac.or.jp>

楽譜コピーに関する情報は、以下のウェブサイトに掲載されています。

楽譜コピー問題協議会(CARS) <https://www.cars-music-copyright.jp>

マーチングバンド部門実施規定

1. 参加資格

- (1) 参加資格は、次のいずれかとする。
 - ①日本マーチングバンド協会に加盟しており、各県組織より参加資格を与えられた団体であること。大会は加盟登録名で参加すること。
 - ②大会実行委員会より出演依頼された団体または個人であること。（特別出演）
- (2) 参加団体は、期限までに所定の参加手続きをする。
 - ①構成メンバーの登録(当日の構成メンバーは登録人数以内であること)
※構成メンバーとは、当日演技フロアに入場する者(小学生・中学生・高等学校の各部における2名までの教師等の指揮者を含む)とする。
 - ②団体参加費として10,000円(合同は2団体目から3,000円ずつ追加)の納入
 - ③構成メンバー登録会費として構成メンバー1名につき1,000円の納入(プログラム, 記念バッチ, 傷害保険料を含む)
※ただし、(1)②については、団体参加費・構成メンバー登録会費を徴収しない。
 - ④その他、指定した書式の提出
- (3) 加盟団体及び構成メンバーの東北大会への参加は1回とする。
ただし、教師等の指揮者及び(1)②, 並びにフェスティバルの部への参加については、この限りではない。

2. 構成と編成

編成別人数表

※本大会は人数編成区分による審査は行いませんが、全国大会に推薦された団体は、本大会の出場人数により、自動的に下記表の全国大会の編成区分に振り分けます。

	小編成	中編成	大編成
小学生の部	50名以内	—	51名以上
中学生の部	54名以内	—	55名以上
高等学校の部	54名以内	55名以上90名以内	91名以上
一般の部	54名以内	—	55名以上

※小・中・高の各部は、2名までの教師等の指揮者を含む。

(1) 小学生の部

- ①構成は下記のいずれかとする。
 - ア. 単一加盟団体の小学生構成
 - イ. 複数加盟団体の合同小学生構成
- ②教師等の指揮者(小学生以外)は2名までとする。ただし、小学生以外の指揮者は、指揮を行えるが演奏演技及び器物等の移動をしてはならない。(入退場時の楽器・器物等の搬入及び搬出は可)
- ③人数編成は自由とする。ただし、全国大会に推薦された団体は以下の区分によって振り分ける。
 - ア. 小編成; 指揮者を含めて50名以内の編成
 - イ. 大編成; 指揮者を含めて51名以上の編成
- ④楽器編成は自由とする。
シンセサイザー, エレクトリックピアノ, エレクトリックギター, エレクトリックベース等の電源を必要とする電子楽器, 及びピアノ, オルガン, ハープシコード, チェレスタ等の重量のある鍵盤楽器は使用不可とする。その他類似するものがある場合は、実行委員会に問い合わせること。

(2) 中学生の部

- ①構成は下記のいずれかとする。
 - ア. 単一加盟団体の中学生構成
 - イ. 複数加盟団体の合同中学生構成
 - ウ. 単一加盟団体の小・中学生構成
 - エ. 複数加盟団体の合同小・中学生構成
- ②教師等の指揮者（小・中学生以外）は2名までとする。ただし、小・中学生以外の指揮者は、指揮を行えるが演奏演技及び器物等の移動をしてはならない。（入退場時の楽器・器物等の搬入及び搬出は可）
- ③人数編成は自由とする。ただし、全国大会に推薦された団体は以下の区分によって振り分ける。
 - ア. 小編成；指揮者を含めて54名以内の編成
 - イ. 大編成；指揮者を含めて55名以上の編成
- ④楽器編成は自由とする。
シンセサイザー，エレクトリックピアノ，エレクトリックギター，エレクトリックベース等の電源を必要とする電子楽器，及びピアノ，オルガン，ハープシコード，チェレスタ等の重量のある鍵盤楽器は使用不可とする。その他類似するものがある場合は，実行委員会に問い合わせること。

(3) 高等学校の部

- ①高等学校の単一加盟団体在校生による構成であること。ただし，同一学校法人内の高校及び中学校の合同構成は認める。
- ②教師等の指揮者（生徒以外）については2名までとする。ただし，生徒以外の指揮者は，指揮を行えるが演奏演技及び器物等の移動をしてはならない。（入退場時の楽器・器物等の搬入及び搬出は可）
- ③人数編成は自由とする。ただし，全国大会に推薦された団体は以下の区分によって振り分ける。
 - ア. 小編成；指揮者を含めて54名以内の編成
 - イ. 中編成；指揮者を含めて55名以上90名以内の編成
 - ウ. 大編成；指揮者を含めて91名以上の編成
- ④楽器編成は自由とする。
シンセサイザー，エレクトリックピアノ，エレクトリックギター，エレクトリックベース等の電源を必要とする電子楽器，及びピアノ，オルガン，ハープシコード，チェレスタ等の重量のある鍵盤楽器は使用不可とする。その他類似するものがある場合は，実行委員会に問い合わせること。

(4) 一般の部

- ①単一加盟団体による構成。ただし，小学生以上であること。
- ②人数編成は自由とする。ただし，全国大会に推薦された団体は以下の区分によって振り分ける。
 - ア. 小編成；指揮者を含めて54名以内の編成
 - イ. 大編成；指揮者を含めて55名以上の編成
- ③楽器編成は自由とする。
シンセサイザー，エレクトリックピアノ，エレクトリックギター，エレクトリックベース等の電源を必要とする電子楽器，及びピアノ，オルガン，ハープシコード，チェレスタ等の重量のある鍵盤楽器は使用不可とする。その他類似するものがある場合は，実行委員会に問い合わせること。

3. 演奏演技

(1) 演技フロア

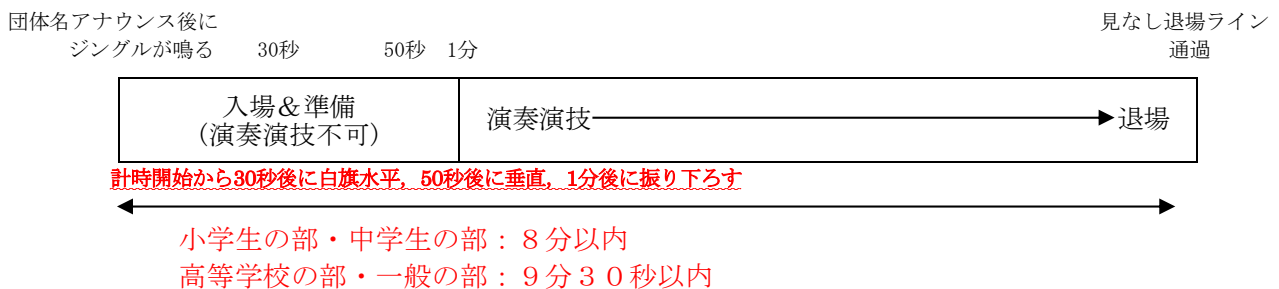
- ①演技フロアは、別記フロア図の通りとする。（特に指定のあるものを除き、線及び印は、すべて5cm幅のものとする）
- ②フロア中心に一辺30mの正方形を実線で明示する。
- ③上記②の正方形の中央の縦横に、十字の直線を実線で明示する。さらに、その直線の中心から5mは、太い実線(15cm幅)で明示する。
- ④演技フロア全域に5m間隔の十字の印(縦横30cm)を明示する。
- ⑤演技フロアへの入場は、構成メンバー(1.参加資格(2)①参照)、登録引率者及び登録運搬補助員のみとする。
※搬入・搬出時の登録引率者及び登録運搬補助員の演技フロアへの入場については「5.登録引率者及び登録運搬補助員」を参照のこと。

(2) 入退場

- ①構成メンバーは、係の指示に従い、入場ラインの外側で待機する。
- ②構成メンバーは、団体名のアナウンスの後に鳴らすジングル(アラーム音)で入場を開始し、演奏演技の準備をする。
- ③演奏演技終了後は、見なし退場ライン(退場口側30m側面ライン)を通過し、指定された退場口を使用し、速やかに退場する。
※入退場においては安全を最優先しつつ、スムーズな進行にご協力ください。

(3) 演奏演技時間

- ① 計時開始
入場開始合図のジングルが鳴り、構成メンバー・登録引率者・登録運搬補助員、もしくは楽器・器物のいずれかが最初に入場ラインを超えた時点。
- ② 演奏演技開始
入場開始から1分間は演奏演技をすることはできない。
※1分後に審判員が白旗を振り下ろして合図する。
※審判の合図する場所については、別記フロア図を参照のこと。
- ③ 計時終了
演奏演技終了後、すべての構成メンバー・登録引率者・登録運搬補助員及び器物等が見なし退場ラインを通過した時点。
最後のメンバー及び器物等が見なし退場ラインを超えてからの演奏演技は不可とする。



4. 手具・器物・特殊効果関連

「手具」とは…

演奏演技者個人が容易に携帯でき、自らが用いる小道具類を手具とする。

「器物」とは…

楽器・手具類・ユニフォーム類のどれにも属さず、演奏演技者以外の物を総称して器物とする。

なお、楽器や楽器運搬台に装飾を施した場合は器物とみなす。

「特殊効果」とは…

フラッシュ・ストロボ・各種ライト類（ケミカル類含）等の光の効果を用いたもの及びサイレンを特殊効果とする。

(1) 演技フロアに搬入する器物については、次に示す規格以内の大きさとする。

※規格：1m80cm × 1m20cm × 1m50cm以内の立体

ただし、規格内の大きさであっても、1m20cmを越える高さで演奏演技することは禁止する。

①器物を重ねたり密着したりして並べる場合は、その状態が規格内の大きさであること。

②フロアに敷く布は器物であるが制限を設けない。

(2) 特殊効果は使用方法・数量等の詳しい説明書を事前に大会審査委員長に提出する。

①化学反応で発光するケミカルライト類はその安全性がメーカーによって保証されているもののみ使用できる。

②乾電池以外の電源の使用は禁止する。

③火気・ガス類・液体類及び固形燃料類は使用を禁止する。

④乗り物（自転車、バイク、ローラースケート、スケートボード等）やドローン等、リモコンで操作されるもの、動物は不可とする。

(3) 正副指揮台は、大会本部が設置したものを設置した場所から移動することなく使用する。

大会本部が設置した指揮台では指揮以外の使用は不可とする。

その他の場所での指揮台使用は、各団体での持ち込みを可とする。

(4) 国旗等の使用は敬意を損なわぬよう最大限の注意をすること。尚、フラッグ等に用いる場合は原形での使用を禁止する。

(5) スパンコールやビーズ等衣装の付属品は、他の団体の演技の妨げとならないようにする。

5. 登録引率者及び登録運搬補助員

- (1) 全参加団体は、構成メンバーを補助する登録引率者を5名まで登録することができる。
- (2) 登録運搬補助員（出演前後の搬入・搬出のための補助員）については、すべての部において、1団体につき10名まで登録することができる。
※登録運搬補助員は、団体受付時に配付する登録運搬補助員シールを左肩に貼り付けること。
この登録運搬補助員シールは、搬入から搬出までの経路に限り有効となる。
- (3) 上記（1）・（2）の登録引率者及び登録運搬補助員は、入場時の搬入作業の補助を行うことができる。演技中は、フロア正面に設ける引率・運搬補助員席にて待機・鑑賞し、演奏演技終了後は、搬出作業の補助を迅速に行う。

6. 演技中に発生した事故対応等について

- (1) 落下物撤去について
演技中に不慮の落下物があり“このままでは演技者が危険である”と判断される場合は、登録引率者及び登録運搬補助員がフロアに入って撤去することができる。撤去者は、撤去後にフロアにいる係員に状況を報告することとする。
- (2) 衝突・転倒などによる演技者の不慮の事故について
演技中にプロップや他の演技者への衝突、転倒などにより被害が拡大しそうな場合、また演技者が重篤な状態に陥った場合には、登録引率者及び登録運搬補助員がフロアに入って救助することができる。救助者は、救助後にフロアにいる係員に状況を報告することとする。係員が救助に入る際には、演技の誤判断を避けるために団体側に確認した上で救助に入る。
- (3) 演技の中断・再演技について
これ以上演技を続けることが危険であると主催者が判断した場合、演技の中断を要請することができる。その判断は、審査委員長が行い、演出部長が団体に要請する。
主催者の原因による中断又は、自然災害による中断以外は原則として再演技は認められない。また、途中で中断した団体は審査対象外とする。
- (4) 演技前の設置ミス等に対する指示について
登録引率者及び登録運搬補助員は、楽器・器物等の設置後、正しい位置に設置できたかを確認することができる。万が一設置場所などにミスがあった場合には、事故防止の観点から演技開始前にフロアに入って指示することができる。
ただし、演技開始後の指示は認めない。
- (5) その他
上記の内容は、あくまでも演技者の安全を図るために配慮したものであり、演技の完成度を補完するものではない。参加団体には、入場・セッティングから退場までの完成度を高めることを第一義に考えていただきたい。
なお、危険を回避するための行動による演技の乱れは、審査に影響しないものとする。

7. その他

- (1) 大会参加に要する経費は参加団体の負担とする。また、大会の開催方法が変更された場合、主催者は係る経費について補償しない。
- (2) 参加手続き期限後の変更等は、当日提出するチェックインシートにより受け付ける。
- (3) 納入された団体参加費・構成メンバー登録会費は返却しない。
- (4) 出演順は県ごととし、会場に近い県からの出演（宮城→福島→山形→岩手→秋田→青森）とする。各県における出演順については、各県協会において決定する。
- (5) 本規定の主旨を変更することなく、加除訂正を実行委員会において行うことができる。

マーチングバンド部門審査規定

1. 審査・審判

(1) 審査委員長

審査委員長は1名とし、審査全般の最終確認を行うとともに、審査審判の円滑な進行を統括する。

(2) 審査員

小学生の部

- ①審査員は5名とし、下記の項目を審査する。
 - ア. 全体的演奏・演技の調和に関する審査員 5名
- ②上記の項目の審査内容については、別に記載する。

中学生の部

- ①審査員は5名とし、下記の項目を審査する。
 - ア. 全体的演奏・演技の調和に関する審査員 2名
 - イ. 全体的演奏技術と表現力に関する審査員 2名
 - ウ. 全体的演技技術と表現力に関する審査員 1名
- ②上記3項目の審査内容については、別に記載する。

高等学校の部・一般の部

- ①審査員は7名とし、下記の項目を審査する。

ア. 音楽と視覚の調和	2名
イ. 演奏の調和	1名
ウ. 演技の調和	1名
エ. 管楽器の技術	1名
オ. 打楽器の技術	1名
カ. 演技の技術 [CGを含む]	1名
- ②上記6項目の審査内容については、別に記載する。

(3) 審判員

- ①審判員は複数とし、1名を審判長とする。
- ②審判員は、人数・時間・器物・入退場の各内容を審判する。
- ③審判員は、違反の有無を、審判長に報告する。
- ④審判長は、結果を審査委員長に報告し、違反の最終確認は審査委員長が行う。

2. 罰 則

- ・参加団体及び応援保護者等に下記の項目に該当する行為があった場合、審査委員長は、大会長及び大会実行委員長との協議により、罰則の処置を決定し執行する。
- ・該当した団体は大会実行委員会がこれを記録し、該当団体に対して書面にて通告する。

(1) 警 告

- ①下記「(2) 減点」及び「(3) 失格」の項目以外の実施規定に反した場合
- ②役員・係員の指示に従わない行為のあった場合
- ③他の参加団体及び観客に対して、迷惑となる行為のあった場合
- ④非社会的な行為、大会主旨に反する行為のあった場合

(2) 減 点 (違反1回につき得点から1点減点)

- ①実施規定「1. 参加資格」(2)①に反した場合
- ②実施規定「2. 構成と編成」(1)～(3)内の②④, (4)③に反した場合
- ③実施規定「3. 演奏演技」に反した場合
 - ※タイムオーバーについては、規定変更初年度のため、30秒オーバーまでは警告とし、それを超える場合は1秒ごとに1点減点する。なお、事故発生によるタイムオーバーの場合は適用しない。
- ④実施規定「4. 手具・器物・特殊効果関連」に反した場合

(3) 失 格

- ①実施規定「1. 参加資格」(1)(3)に反した場合
- ②実施規定「2. 構成と編成」(1)～(4)内の①に反した場合
- ③消防法等の法令に抵触する行為(火気・危険物等の使用)があった場合

3. 成績・表彰・推薦

(1) 得点・成績点

- ①各審査員は、上記1.(2)に基づき、別紙「審査内容」「審査基準(クライテリア)」に沿って100点法(小数点なし)で採点する。
- ②各審査員の評点合計を審査員数で割った値(小数点第2位まで用いる)を各団体の得点とする。
- ③上記得点から罰則に課せられた減点を差し引いたものを各団体の成績点とする。
- ④大会終了後、得点・成績点一覧を通知する。

(2) 表彰及び全国大会への推薦

- ①全団体に、成績点により金・銀・銅のいずれかの賞を授与する。
 - 金賞：85点以上100点満点
 - 銀賞：75点以上85点未満
 - 銅賞：75点未満
 - ※全国大会推薦団体には、成績点に関わらず金賞を授与する。
- ②全国大会推薦枠数に従い、成績点の高い団体を全国大会に推薦する。
- ③成績点が同点の場合は、当該団体間の席次合計が少ない団体を全国大会に推薦する。
- ④さらに同点の場合は、審査員の投票により選考する。
- ⑤賞及び全国大会推薦団体は、東北M&B連盟ホームページおよび各種SNSで発表する。

マーチングバンド部門 審査内容
小学生の部

全体的演奏・演技の調和

全体的演奏・演技の調和

演奏・演技全体を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて全体的に判断する。

全体的表現

・全体構成

「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」の変化や「起承転結」等の構成を理解した、メリハリが感じられる演奏・演技になっているか。

・音楽と視覚の調和

音楽効果と視覚効果の調和を意識した演奏・演技をしているか。

・ミュージシャンシップ

観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

・完成度

安定感のある仕上がった演奏・演技になっているか。

音楽的表現

・表現

テンポ、音色、音程等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した音楽表現ができているか。

・バランスとブレンド

ステージング（フォーメーションの中での楽器の配置）を考えながら、管楽器内、打楽器内、管楽器と打楽器のバランスやブレンドに気を付けた合奏ができているか。

・強弱

美しい音質を保ちながら、強弱の差が効果的に表現されているか。

・統一感

イントネーション等がそろっているか。

視覚的表現

・表現

テンポ、緩急等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した動きの表現ができているか。

・ポジションワーク

インターバル（横の間隔）やディスタンス（縦の間隔）等に気を付け、全体のフォーメーションに貢献できているか。

・動作の鮮明度と同一性

動作がはっきりとして正確で、形やタイミングがそろっているか。

・リカバリー

ミスに対して適切な対応をしているか。

段階C(BOX C)

良好

70未満

段階B(BOX B)

優良

70以上85未満

段階A(BOX A)

優秀

85以上100満点

全体的演奏・演技の調和 審査基準(クライテリア)	
段階 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲やコンテ（動き方を図とコメントで示したもの）の意図を伝えようとする意欲は充分で、ミュージシャンシップが強く発揮されている。 ・ メンバー（演奏・演技者）の演奏と動きが十分に調和されており、多くの場面で観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている。 ・ テンポの維持や変化が適切になされている。 ・ 楽曲のスタイルや曲想を的確に反映した音楽表現がなされ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが適切になされている。 ・ ポジションワークや形、タイミングがそろえられたはっきりとした動きの表現がなされ、リカバリーも適切にされている。
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップを感じ取ることができる。 ・ メンバーの演奏と動きが概ね調和されており、観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている場面が見受けられる。 ・ テンポの維持や変化が概ね正確に実施されている。 ・ 楽曲のスタイルや曲想を反映した音楽表現を行おうとする意欲が感じられ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが概ねなされている。 ・ ポジションワークや形、タイミングが概ねそろえられた動きの表現がなされ、リカバリーしようとする姿勢が感じられる。
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップがあまり感じられない。 ・ メンバーの演奏と動きが調和されている場面が少なく、観客の耳と目に相乗効果に訴えることができていない。 ・ テンポの維持や変化が不正確である。 ・ 楽曲のスタイルや曲想を意識した音楽表現があまりなされておらず、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが不十分である。 ・ ポジションワークや形、タイミングがそろえられた動きの表現があまりなされておらず、リカバリーしようとする姿勢が不足している。

マーチングバンド部門 審査内容
中学生の部

全体的演奏・演技の調和

全体的演奏・演技の調和

演奏・演技全体を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて全体的に判断する。

全体的表現

・全体構成

「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」の変化や「起承転結」等の構成を理解した、メリハリが感じられる演奏・演技になっているか。

・音楽と視覚の調和

音楽効果と視覚効果の調和を意識した演奏・演技をしているか。

・ミュージシャンシップ

観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

・完成度

安定感のある仕上がった演奏・演技になっているか。

音楽的表現

・表現

テンポ、音色、音程等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した音楽表現ができているか。

・バランスとブレンド

ステージング（フォーメーションの中での楽器の配置）を考えながら、管楽器内、打楽器内、管楽器と打楽器のバランスやブレンドに気を付けた合奏ができているか。

・強弱

美しい音質を保ちながら、強弱の差が効果的に表現されているか。

・統一感

イントネーション等がそろっているか。

視覚的表現

・表現

テンポ、緩急等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した動きの表現ができているか。

・ポジションワーク

インターバル（横の間隔）やディスタンス（縦の間隔）等に気を付け、全体のフォーメーションに貢献できているか。

・動作の鮮明度と同一性

動作がはっきりとして正確で、形やタイミングがそろっているか。

・リカバリー

ミスに対して適切な対応をしているか。

段階C (BOX C)

良好

70未満

段階B (BOX B)

優良

70以上85未満

段階A (BOX A)

優秀

85以上100満点

全体的演奏・演技の調和 審査基準（クライテリア）	
段階 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲やコンテ（動き方を図とコメントで示したもの）の意図を伝えようとする意欲は充分で、ミュージシャンシップが強く発揮されている。 ・ メンバー（演奏・演技者）の演奏と動きが十分に調和されており、多くの場面で観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている。 ・ テンポの維持や変化が適切になされている。 ・ 楽曲のスタイルや曲想を的確に反映した音楽表現がなされ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが適切になされている。 ・ ポジションワークや形、タイミングがそろえられたはっきりとした動きの表現がなされ、リカバリーも適切にされている。
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップを感じ取ることができ る。 ・ メンバーの演奏と動きが概ね調和されており、観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている場面が見受けられる。 ・ テンポの維持や変化が概ね正確に実施されている。 ・ 楽曲のスタイルや曲想を反映した音楽表現を行おうとする意欲が感じられ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが概ねなされている。 ・ ポジションワークや形、タイミングが概ねそろえられた動きの表現がなされ、リカバリーしようとする姿勢が感じられる。
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップがあまり感じられない。 ・ メンバーの演奏と動きが調和されている場面が少なく、観客の耳と目に相乗効果に訴えることができていない。 ・ テンポの維持や変化が不正確である。 ・ 楽曲のスタイルや曲想を意識した音楽表現があまりなされておらず、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが不十分である。 ・ ポジションワークや形、タイミングがそろえられた動きの表現があまりなされておらず、リカバリーしようとする姿勢が不足している。

マーチングバンド部門 審査内容
中学生の部

全体的演奏技術と表現力

全体的演奏技術と表現力

演奏者の技術力や表現力がいかに調整されているかを全体的に判断する。

演奏技術

- ・呼吸法
十分に息が吸えており、ブレスコントロールができているか。
必要な長さまできちんと息を使えているか。
- ・音質
無理のない自然な響きで、それぞれの楽器の特性にあった音色が作られているか。
- ・音程
チューニングが正確にされているか。
正しいピッチにより旋律、和音とも自然な響きが得られているか。
- ・アーティキュレーション
曲想に合っており十分な多様性があるか。
よく統一されているか。
- ・打楽器の奏法の統一
基本的な奏法が統一されているか。

表現力

- ・ダイナミックレンジ
曲想に合った強弱の付け方ができているか。
- ・フレーズ感
曲想に合ったフレーズ感を表現しているか。
- ・バランスとブレンド
全体を通じて高音楽器から低音楽器までバランスよくブレンドされているか。
旋律やソロとハーモニーのバランスが良く、明瞭であるか。
- ・スタイル
楽曲のジャンルの特徴や、楽曲そのものの個性を演奏者がいかに理解して表現しているか。
- ・ミュージシャンシップ
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

段階C (BOX C)
良好
70未満

段階B (BOX B)
優良
70以上85未満

段階A (BOX A)
優秀
85以上100満点

全体的演奏技術と表現力 審査基準（クライテリア）	
段階 A	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸法は統一されており、常に正確なブレスコントロールで、ダイナミックレンジや音域の高度な要求に対応している。 ・常に正確なチューニングと美しい音質で演奏し、乱れが感じられることはほとんどない。 ・常に安定したテンポと正確なタイミングで演奏されており、アーティキュレーションも曲想に合わせた奏法で統一されている。 ・曲想の解釈は細かい部分まで統一されており、表現の幅も十分である。また、常に楽曲の流れを考慮した表現がなされている。 ・全体を通し、常に曲想を理解した演奏が実施され、場面ごとのバランスやブレンドのコントロールがそろえられている。 ・楽曲のスタイルや特徴を十分に理解し、その個性を活かした表現をしようと試みており、ほとんどが成功している。 ・観客にアピールしようとする意志は十分に力強く、ほとんどの場面において意図した内容が伝わっている。
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸法はほぼ統一されているが、時折乱れ、不安定な響きや荒々しい音が聞かれる場面がある。 ・多くの場面でチューニングは正確にそろえられ、美しい音質で演奏しているが、時折乱れを感じる場面がある。 ・安定したテンポとタイミングで演奏されているが、時折アタックやリリースに乱れがあり、演奏の明瞭さやインパクトに欠ける場面がある。 ・場面ごとの曲想や音量に関する解釈はある程度統一されており、表現にある程度の幅を感じとれるが十分ではなく、楽曲の流れ表現の仕方が一致しないことが一部にある。 ・楽曲のスタイルや特徴を理解し、それを活かした表現を試みているが、時折不十分な場面がある。 ・観客を意識し、アピールしようとする姿勢は感じとれるが、十分でない為に意図した内容が伝わらない場面がある。
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸法を統一しようとする努力は見受けられるが、ブレスコントロールの乱れが多く十分な響きが得られていない。 ・正確なチューニングと美しい音質を保とうとする努力は見受けられるが、乱れる場面が多い。 ・テンポとタイミングに関する解釈はそろっているようであるが、アタックやリリースに乱れが多く、演奏の明確さやインパクトに欠ける場面が多い ・場面ごとの曲想や音量に関して、統一された解釈があるようであるが、表現の幅が狭いため楽曲の流れと表現のしかたが一致しないことが多い。 ・楽曲のスタイルや特徴に関する理解が不足している。 観客を意識し、アピールしようとする努力が不足しているために意図した内容が伝わらない。

マーチングバンド部門 審査内容
中学生の部

全体的演技技術と表現力

全体的演技技術と表現力

演技者の技術力や表現力がいかに調整されているかを全体的に判断する。

演奏技術

- ・スタイルの統一と適応
FM、RM、MT、停止姿勢、ターン方法などが統一されているか。
- ・動作の完成度
動作が正確に行われ、タイミングがそろっているか。
- ・楽器と手具の保持および使い方
演奏・演技を行うにあたり楽器や手具などが適切に使われているか。
- ・列、間隔のそろえ方
列をそろえるにあたり、その基準を理解しているか
動きの中でインターバルやディスタンスの取り方を理解しているか。
- ・動作の転換とタイミング
連続した動作が正確にスムーズに行われているか。

表現力

- ・コミュニケーション
表現を通して観客との対話がなされているか。
- ・ボディーワーク
演奏している音楽に適した表現がなされているか。
- ・手具などの表現
手具の扱い方や振付が音楽に適した表現がなされているか。
- ・ショーマンシップ
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が統一されているか。

段階C (BOX C)
良好
70未満

段階B (BOX B)
優良
70以上85未満

段階A (BOX A)
優秀
85以上100満点

--	--	--	--

全体的演技技術と表現力 審査基準（クライテリア）	
段階 A	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や動作，楽器や手具の持ち方等のスタイルは完全またはそれに近い状態で統一されており，良く洗練されている。 ・動作やタイミングは良くそろっており，ミスがあった場合そのリカバリーは早く正確である。 ・フォーメーションの中で，列や間隔の乱れは非常に少なく，あったとしてもほとんど気にならない。 ・音楽に適した表現が良くできており，アピールしようとする姿勢も高い。
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や動作，楽器や手具の持ち方等のスタイルを統一しようとするときの基準は認識できるが，不十分である。 ・動作やタイミングは概ねそろっているが，細部の調整が不十分な場面があり，ミスのリカバリーが遅くなることがある。 ・フォーメーションの中で，列や間隔をそろえようとする意識はあり，その合わせ方も理解しているようであるが，不十分な場面がある。 ・音楽を意識しているが，アピールしようとする姿勢が不足し，表現力に欠ける場面がある。
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や動作，楽器や手具の持ち方等のスタイルを統一しようとするときの基準があいまいで，統一感が弱い。 ・動作やタイミングを合わせようとする努力は見受けられるが，ふぞろいが多い。 ・ミスの自覚が乏しくリカバリーの機会を失う場面が多い。 ・フォーメーションの中で，列や間隔をそろえようとする努力は見受けられるが，ふぞろいな場面が多い。 ・音楽に関する理解度が不足し，アピールしようとする姿勢が少ないために表現力が乏しい場面が多い。

マーチングバンド部門 審査内容
高等学校・一般の部

音楽と視覚の調和

作品の全体的調和

ショー全体のコーディネーションを音楽的な要素と視覚的な要素との結びつきをふまえて総合的に判断する。

- ・ コーディネーション
ショーの流れに「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」や「起承転結」を感じさせる変化があるか。
また、無理のない流れがあるか。
クライマックスが表現されているか。
各セクションの組合せに調和や変化を感じさせるか。
- ・ 音楽と視覚の調和
音楽と視覚が調和されているか。
- ・ 独創性と多様性
作品が独創性に優れ、なおかつ多様性に富んでいるか。

作品の解釈と表現

ショー全体の解釈と表現を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて総合的に判断する。

- ・ 表現の幅と質
作品が意図するところを理解し強弱や緩急、喜怒哀楽などの表現に幅があるか。
また、それらを高めようとしているか。
- ・ ミュージシャンシップとショーマンシップ
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。
また、観客とのコミュニケーション（伝達）が良好か。
- ・ 完成度
内容を把握し、ミスやエラーのない演奏・演技になっているか。
表現の幅と質が作品の意図するところを理解し強弱や緩急、喜怒哀楽などの表現が完成されているか。

段階 1 (BOX 1)	段階 2 (BOX 2)	段階 3 (BOX 3)	段階 4 (BOX 4)	段階 5 (BOX 5)	
努力を要す 60未満	ふつう 60～69	良好 70～79	優良 80～89	優秀 90～100	

音楽と視覚の調和 審査基準（クライテリア）

	作品の全体的調和	作品の解釈と表現
段階5	<ul style="list-style-type: none"> 作品全体において調整は行き届いており、違和感はほとんど無い。 作品全体の構成、処理は、バラエティーに富んでおり、部分的な処理にも多様性が感じられる。 色彩的にも豊かであり、かつ音楽との整合性もあり効果的である。 場面ごとに多くの、聴かせ所や見せ場があり、それらが大変うまく強調されており、非常に効果的である。 作品全体を通して常に平均的なレベル以上の効果が生み出されており、長い時間観客を引き付ける事に成功している場面が多々ある。 ほとんどの場面で、解釈、処理は独創的かつ高度であり、それらが効果に密接に結びついている。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏・演技者による作品の理解は充分かつ高度で、観客とのコミュニケーションは常に円滑で密度も高く行われている。 ほとんどの場面で演奏・演技者の集中力は常に深く継続しており、観客は作品の意図を充分理解し楽しむ事が出来る。 演奏・演技者による感情表現は幅広く、質的にもバラエティー豊かに現われ、観客を度々魅了し感動させる。 ほとんどの場面で演奏・演技者のミュージシャンシップやショーシップは常に強く発揮され、観客が感動する場面が度々ある。
段階4	<ul style="list-style-type: none"> 作品全体において、多くの場面で調整されているが、違和感がある部分もある。 作品全体の構成、処理はバラエティーに富んでいるが、平淡に感じられる部分が多少ある。 色彩的に豊かであり、音楽との整合性も感じられるが、違和感がある部分もある。 場面ごとに聴かせ所や見せ場があり、効果が強調されているが、効果が限定的である。 多くの場面で継続して平均以上の効果を発揮している部分があり、観客を引き付ける事もあるが、それぞれが繋がらない。 随所に独創的な解釈、処理が感じられるが、それが直接効果に繋がらない場合も少しある。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏・演技者による作品の理解は充分で、観客とのコミュニケーションは高いが、伝わりきらない場合がある。 多くの場面で演奏・演技者の集中力は安定しているが、作品の意図が継続的に伝わらない場合もある。 演奏・演技者による感情表現は広く、観客が心を動かされる場面も少なくないが、伝わらない場合もある。 多くの場面で演奏・演技者のミュージシャンシップやショーマンシップは発揮されているが、観客を感動させられない場合もある。
段階3	<ul style="list-style-type: none"> 作品全体において調整されている様に感じられるが、調整が不足している部分も少なくない。 作品全体の構成、処理にバラエティーも感じられるが、平淡に感じられる部分もある。 やや、全体的な色彩が単調で、音楽との整合性も不足している。 聴かせ所や見せ場と感じられる部分もあるが、充分な効果を出し得てはいない。 効果的と思える部分はあるが、断片的であり、長続きしない場合が多い。 独創的な解釈、処理がなされていると感じられる部分があるが、多くはない。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏・演技者による作品の理解は得られているようだが、観客とのコミュニケーションは十分ではない。 ある程度、演奏・演技者の集中力を感じる部分もあるが、作品の意図が継続的に伝わらない。 演奏・演技者は作品が持つ感情表現は感じられるが、観客の感情を操作するには至らない。 ある程度、演奏・演技者のミュージシャンシップやショーマンシップは発揮されているが、観客を感動させられない場合もある。
段階2	<ul style="list-style-type: none"> 作品全体において調整されている部分が不足しており、違和感も多く感じられる。 作品全体の構成、処理、色彩が平坦に感じられる。 聴かせ所や見せ場と感じられる部分が不足しており、その多くが効果を発揮していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏・演技者による作品の理解は不足しており、観客とのコミュニケーションも不十分である。 演奏・演技者の集中力が不足しており、作品の意図が伝わらない。 演奏・演技者による感情表現はあまり感じられない。
段階1	<ul style="list-style-type: none"> 作品全体が調整されている様には感じられず、雑然としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏演技者による作品の理解は未熟で、観客に対する意識も希薄である。

マーチングバンド部門 審査内容
高等学校・一般の部

演奏の調和

演奏の音楽性

演奏の音楽性がいかに優れているかを、管楽器・打楽器の両面にわたって、演奏者全体もしくは各セクションに関して判断する。

- ・表現力
音楽的表現がいかに幅広く多様で音楽の内容をよく理解しているか。
- ・フレージング
曲想に合ったフレージングがなされているか。
統一されているか。
- ・ダイナミックレンジ
強弱が適切かつ統一されているか。
その範囲がいかに幅広いか。
- ・バランスとブレンド
バランスとブレンドのコントロールがどのようにされているか。
- ・テンポ
テンポの維持・コントロールがいかに正確かつ適切にされているか。

演奏の質と技術

演奏の質や、全体的な技術がいかに優れているかを、管楽器・打楽器両面にわたって、演奏者全体もしくは各セクションに関して判断する。

- ・全体的な音質
全体的な音質がいかに美しいか。
- ・チューニング
チューニングがいかに的確になされているか。
- ・イントネーション
イントネーションがどれだけそろっているか。
- ・リズムックコントロール
リズムックコントロールがいかに適切にされているか。
- ・タイミング
タイミングがいかに正確にそろっているか。
- ・フォーカス（音の方向性・指向性）
フォーカスコントロールがいかに適切かつそろっているか。

段階 1 (BOX 1)	段階 2 (BOX 2)	段階 3 (BOX 3)	段階 4 (BOX 4)	段階 5 (BOX 5)	
努力を要す 60未満	ふつう 60～69	良好 70～79	優良 80～89	優秀 90～100	

演奏の調和 審査基準（クライテリア）

	演奏の音楽性	演奏の質と技術
段階5	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現は常に幅広く深みがあり、内容も多様である。 フレージングは常に曲想的に確反映したもので、乱れはほとんど感じられない。 バランスとブレンドのコントロールは常に適切に整えられている。 テンポは常に正確に維持され、その変化のコントロールも柔軟かつ確実に乱れない。 	<ul style="list-style-type: none"> 音質は常に美しく整えられ、乱れが感じられることはほとんどない。 チューニングは正確で、ピッチが不ぞろいな部分はほとんどない。 イントネーションは良くそろえられており、違和感はほとんどない。 リズムコントロールはほとんどの場面で適切に行われ、自然な流れが保たれる。 タイミングに対する理解が的確で、乱れることはほとんどない。 フォーカスコントロールは常に適切で、音がバラバラの向きに飛ぶようなことはほとんどない。
段階4	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現は多くの場面で適切になされているが、幅や深みに不足を感じる部分もある。 フレージング多くの場面で曲想を反映しているが、乱れを感じる部分もある。 ダイナミックレンジは広く、多くの場面でコントロールされているが、乱れを感じる部分もある。 テンポは維持され、その変化も多くの場面でコントロールされているが、乱れる場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 音質は多くの場面で美しく整えられているが、乱れが感じられることもある。 チューニングは概ね正確だが、ピッチがふぞろいに感じられる部分もある。 イントネーションは概ねそろっているが、違和感がある部分もある。 リズムコントロールは多くの場合適切だが、流れが損なわれる場面もある。 フォーカスコントロールは多くの場面で良好だが、音がバラついてやや拡散することがある。
段階3	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現はある程度なされているが、あまり幅広くなく、単純に感じられる。 フレージングはある程度整えられているが、不足を感じる。 ダイナミックレンジはやや狭く、コントロール不足を感じる。 バランスとブレンドはある程度整えられているが、不足を感じる。 テンポはある程度維持されているが、その変化をコントロールしきれずに乱れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 音質はある程度美しく整えられているが、不足を感じる。 チューニングはある程度そろっているが、ピッチがふぞろいな部分も多い。 イントネーションはある程度そろっているが、違和感がある部分も多い。 リズムコントロールはある程度なされているが、不自然さを感じる部分が多い。 フォーカスコントロールはある程度なされているが、音がバラバラと拡散する時間が長い。
段階2	<ul style="list-style-type: none"> 音楽的な表現が不足しており、表現も単調である。 ダイナミックレンジは狭く、あまりコントロールされていない。 フレージングはあまり整えられておらず、ふぞろいである。 	<ul style="list-style-type: none"> 音質を美しく保とうとする努力が不足している。 チューニングは大雑把であり、ピッチがそろわない場面が多い。 リズムやタイミング、フォーカスの理解が不足している。
段階1	<ul style="list-style-type: none"> 音楽的に何かを表現しようとしているようには感じられない。 フレージングやダイナミクスが設定されているようには聴こえない。 	<ul style="list-style-type: none"> 音質を美しく保とうとしているようには聴こえない。 チューニングやリズムは不正確で、そろっていない。

マーチングバンド部門 審査内容
高等学校・一般の部

演技の調和

視覚要素（フォーム、ボディ、手具）

演技の構成がいかにより優れているかを、演技者全体もしくは各セクションに関して判断する。

- ・ 統一性
視覚的構成がいかによりまとまっているか。
- ・ 視覚的音楽性（フレージング、解釈、強調）
視覚的構成がいかにより音楽的であるか。
- ・ 表現力
視覚的表現がいかにより豊かであるか。
- ・ 多様性
視覚的構成がいかにより多様であるか。

演技の質と技術

演技の質や全体的な技術がいかにより優れているかを、演技者全体もしくは各セクションに関して判断する。

- ・ 同一性
同じ動作がいかにより同じようにできているか。
- ・ 全般的技術
全般的な動作の技術がいかにより優れているか。
- ・ アーティキュレーション
動作のアーティキュレーションがいかによりそろっているか。
- ・ 鮮明度
動作がいかによりはっきり明らかであるか。
- ・ リカバリー
リカバリーがいかにより早いか。

段階 1 (BOX 1)	段階 2 (BOX 2)	段階 3 (BOX 3)	段階 4 (BOX 4)	段階 5 (BOX 5)	
努力を要す 60未満	ふつう 60～69	良好 70～79	優良 80～89	優秀 90～100	

演技の調和 審査基準（クライテリア）

	視覚要素（フォーム、ボディ、手具）	演技の質と技術
段階5	<ul style="list-style-type: none"> ・統一性は十分に常にとまっており、乱れる部分はほとんどない。 ・視覚的構成に音楽が十分に反映しており、違和感があることは少ない。 ・手具が効果的に使用され、かつ音楽を視覚的に表現する効果を十分に発揮しており、違和感があることは少ない ・視覚的に豊かな表現がなされ、不足に感じる部分が少ない。 ・多様性は大変豊富で、状態の変化は常に保たれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に高い動作の同一性を保ち、不ぞろいな部分は少ない。 ・ほとんどの場面で継続した技術の優秀性を発揮し、未熟さを感じる部分は少ない。 ・アーティキュレーションは十分整っており、不ぞろいな部分は少ない。 ・動作は常に鮮明で、はっきりとしている。 ・ほとんどの場合、リカバリーは素早く、的確になされる。
段階4	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの場面で視覚的に統一され、まとまっているが、乱れる部分が時々気になる。 ・多くの場面で視覚的構成に音楽を反映している部分が見られるが、違和感がある場面も少しある。 ・多くの場面で手具などが効果的に使用され、音楽を反映した表現が見られるが、違和感があることが少しある。 ・多くの部分で豊かな視覚的表現がなされるが、もの足りなさを覚える部分も少しある。 ・多様性は豊かではあるが、単調な部分もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動作は概ね同一性を保っているが、不ぞろいな部分もある。 ・多くの場面で技術の優秀性を示すが、未熟さを感じる場面もある。 ・アーティキュレーションは概ねそろっているが、気になる部分もある。 ・動作は鮮明だが、はっきりしない部分もある。 ・多くの場合、リカバリーは迅速にされるが、時折時間が掛かる場合や不完全なことがある。
段階3	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度、視覚的に統一されているが、まとまりのない部分も少なくない。 ・ある程度、視覚的構成に音楽を反映している部分が見られるが、全体的に不足している。 ・ある程度、手具などの効果的な音楽表現があるが、もの足りない。 ・豊かな表現力を感じられる部分もあるが、全体的にもの足りない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度、動作はそろっているが、不ぞろいな部分が多い。 ・高度な技術の習得を示す部分を感じられるが、全体的に未熟さが見える。 ・整ったアーティキュレーションを感じる部分もあるが、不十分な場面が多い。 ・鮮明な動作を感じる部分もあるが、はっきりしないことが多い。 ・リカバリーはされるが、時間が掛かることが多く、不完全な場合が少なくない。
段階2	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感が不足しており、まとまりも感じられない。 ・視覚的構成に音楽性を感じられる部分はあまりない。 ・手具などの表現に音楽性を感じる部分が少なく、その効果も感じられない。 ・表現力を感じることができず平坦である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動作がそろっている部分が少なく、それぞれが十分ではない。 ・良好な技術を示すことが少なく、初歩的な範囲から脱しきれていない。 ・アーティキュレーションがそろっておらず、不鮮明である。
段階1	<ul style="list-style-type: none"> ・全てにおいて不ぞろいで、まとまりがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ内容の動作をしているように見える場面がない。 ・初歩的な動作の技術の習得が不足している。

マーチングバンド部門 審査内容
高等学校・一般の部

管楽器の技術

基礎技術力

管楽器セクションの基礎技術力がいかに優れているかを、個々のプレーヤーもしくはパート、セクションに関して判断する。

- ・呼吸法
十分に息が吸えているか。安定したブレスコントロールができているか。必要な長さまできちんと息を使えているか。
- ・音質
無理のない自然な響きが得られているか。それぞれの楽器の特性に合った音色をつくっているか。
- ・音程
チューニングが正確になされているか。正しいピッチにより旋律、和音とも自然な響きを得られているか。
- ・アーティキュレーション
曲想に合っているか。十分な多様性があるか。よく統一されているか。
- ・テンポ及びタイミング
ある一定のテンポ感を安心して感じることができるか。テンポ・タイミングがいかに正確か。

表現力

管楽器セクションの表現力がいかに優れているかを、個々のプレーヤーもしくはパート、セクションに関して判断する。

- ・表現方法とフレージング
音楽的表現がいかに幅広く、多様で音楽の内容をよく理解しているか。
曲想に合ったフレージングがなされ、それが統一されているか。
- ・ダイナミックレンジ
音量に関しての解釈が統一されているか。曲想に合った強弱の付け方ができているか。
- ・バランスとブレンド
全体を通じて高音楽器から低音楽器までバランス良くブレンドされているか。
旋律やソロとハーモニーのバランスが良く、明瞭であるか。
- ・スタイル
楽曲のジャンルの特徴や、楽曲そのものの個性を演奏者がいかに理解し表現しているか。
- ・ミュージシャンシップ
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

段階 1 (BOX 1)	段階 2 (BOX 2)	段階 3 (BOX 3)	段階 4 (BOX 4)	段階 5 (BOX 5)	
努力を要す 60未満	ふつう 60～69	良好 70～79	優良 80～89	優秀 90～100	

管楽器の技術 審査基準 (クライテリア)

	基礎技術力	表現力
段階5	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸法や発音、リリースはほとんど完璧に統一されている。 常にリラックスした状態で安定したプレスサポートを駆使し、強弱・音域・音色変化の高度な要求にも明瞭かつ瞬時に対応している。 音質は豊かで繊細かつ力強い。 各楽器の特性に合った音色を理解しており、乱れることはほとんどない。 アンブシュアの安定により自然な響きが得られており、多彩な音色を持っている。 音程はほとんど場面で完璧に維持され、確固たるイヤートレーニングに支えられた正確なピッチコントロールが美しいイントネーションとハーモニーを生み出している。 アーティキュレーションはほとんどの場面で統一され、パリエーションも豊富で、曲想に合わせて適切に使用されている。 テンポやタイミングに関する解釈はほとんどの場面で統一されており、一定のテンポ感を安心して感じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法は多彩で幅広く、楽曲に関する深い理解と音楽性をほとんどの場面において感じ取ることができる。また、フレージングは音楽的で良く統一されている。 ダイナミックレンジは非常に幅広く、ほとんど乱れることなくコントロールされている。また、強弱の設定も適切で解釈もほぼ統一されている。 バランスは常に維持され、p p や f f を演奏する場合でも個々の音が飛び出すことはほとんどなく、パートして豊かにブレンドしている。また、メロディーと伴奏のバランスも良い。 楽曲のスタイルや特徴を十分に理解している。また、音楽の個性を活かした表現を試み、ほとんどの場面で成功している。 ミュージシャンシップに満ちており、観客にその音楽をアピールしようとする姿勢が強く感じられる。また、ほとんどの場面において奏者の意図する内容が明瞭に伝わる。
段階4	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸法や発音、リリースは多くの場面で統一されているが、難しいフレーズを演奏する場合などにプレスサポートの乱れを感じることもある。 音質は多くの場面において良好で楽器本来の音色が得られているが、ダイナミクス・音域等の高度な要求がある時に炸裂音や音色の劣化がみられることがある。 音程は多くの場面で良く維持されているが、イントネーションやハーモニーに乱れを感じることもある。 アーティキュレーションは多くの場面で統一されているが、違和感がある部分もある。 テンポやタイミングに関する解釈は多くの場面で統一されているが、乱れを感じることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法は幅広いが、時折楽曲の理解が不十分に感じられる場面もある。また、フレージングも音楽的で適切だが、それらが損なわれたり、乱れたりする場面もある。 ダイナミックレンジは広く、多くの場面でコントロールされているが、乱れを感じる部分もある。また、強弱の設定は概ね適切だが、不自然に感じることもある。 バランスは多くの場面で維持されるが、個々の音がパートにブレンドしないこともある。また、メロディーと伴奏のバランスも概ね良いが、メロディーが埋もれてしまうこともある。 楽曲のスタイルや特徴を概ね理解し、その個性を活かした表現を試みているが、成功しないこともある。 ミュージシャンシップを感じる事ができ、観客にその音楽をアピールしようとする姿勢が感じられるが、奏者の意図する内容が伝わり切らないこともある。
段階3	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸法や発音、リリースはある程度そろっているが、プレスサポートが乱れるため不安定な響きや荒々しい音色がしばしば聞かれる。 音質を良好に維持しようとする姿勢は感じられるが、f (フォルテ) では荒々しくなり、p (ピアノ) では弱々しい響きになりやすく、音色にバラつきも生じる。 音程はある程度そろえられているがピッチコントロールが弱く、イントネーションやハーモニーがしばしば乱れる。 アーティキュレーションをそろえる意志は感じられるが、統一感が弱く、不明瞭な印象を受ける。 テンポやタイミングを合わせる意志は感じられるが、その方法やテクニックの問題から乱れを生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法にある程度の幅を感じ取れるが、楽曲の理解に不足を感じる。また、フレージングは音楽的にやや不十分で乱れることが多い。 ダイナミックレンジはやや狭く、コントロール不足も目立つ。また、強弱の設定はある程度なされているが、解釈に統一感がなく、違和感がある。 バランスはある程度維持されているが、個々の音がパートにブレンドしないことが多い。また、バランスの問題からメロディーが不明瞭に感じられる場面が多い。 楽曲のスタイルや特徴をある程度理解しているように思われるが、その表現は成功しないことが多い。 ミュージシャンシップはやや弱く、観客にその音楽をアピールしようとする意図する内容が伝わり切らない。
段階2	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸法に関する理解が不十分で、ムダな力みのため、必要なプレスサポートが得られていない。また、発音やリリースをそろえる意識も弱い。 音質を良好に維持しようとする意志が弱く、プレスやアンブシュアの不安定さによる個々の音色のバラつきも目立つ。 チューニング自体が不完全であり、耳を使って一定の音程を保つトレーニングが不足している。 アーティキュレーションに関する理解が不十分で、テンポやタイミングをそろえる意識やトレーニングも不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法の幅が狭く、楽曲の理解も浅く不十分である。また、演奏の努力は認められるが音楽的な表現が不足しており、フレージングに関する認識もあまり感じられない。 ダイナミックレンジは狭く、あまりコントロールもされていない。また、強弱の設定も不明瞭である。 バランスを維持しようとする意識が希薄なため、メロディーラインが不明瞭である。また、個々の音の飛び出しが著しく目立ち、パートにブレンドしない。 楽曲のスタイルや特徴に関する理解が浅く、不十分である。また、奏者の意図も観客にうまく伝わらない。
段階1	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸法に統一性が認められず、楽器本来の音色が聞かれない。 プレストレーニングやアンブシュアの改善が必要である。 チューニングができておらず、音程を合わせようとしているようには感じられない。 テンポやタイミングに関する個々の理解が認められず、演奏がまちまちでそろわない。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法やフレージングに関して、統一された解釈があるようには感じられない。 ダイナミクスやバランスに関する認識があるようには感じられない。 楽曲に関する理解が感じられず、何かを伝えようとする姿勢が見受けられない。

マーチングバンド部門 審査内容
高等学校・一般の部
打楽器の技術

基礎技術力

打楽器セクションの基礎技術力がいかに優れているかを、個々のプレーヤーもしくはパート、セクションに関して判断する。

- ・奏法の統一と適応
グリップ、フォーム、スティックハイトがいかに統一されているか。
- ・音楽の音作り
楽器本来の良い音が出せているかどうか。（奏法的に導き出せているか。調整で導き出せているか。）
楽曲に対し、適した楽器、道具（スティック等）を使用しているか。会場の音響を考慮した音作り（調整）がされているか。
各楽器の音程、音域がバランス良く決められているか。
- ・ピッチの正確さ
同じ楽器間で個々のピッチがいかに正確か。楽曲の特徴を配慮した音程、音域になっているか。
- ・アーティキュレーションの明確さ
同じ内容の演奏をしていると思われる演奏が、いかに同じように演奏されているか。
演奏上のミス、くせ、手順、アクセント、中断等がいかに少ないか。
- ・テンポ及びタイミング
ある一定のテンポ感を安心して感じることができるか。テンポ、タイミングがいかに正確か。

表現力

打楽器セクションの表現力がいかに優れているかを、個々のプレーヤーもしくはパート、セクションに関して判断する。

- ・表現方法とフレージング
音楽的表現がいかに幅広く多様で、音楽の内容をよく理解しているか。また、曲想にあったフレージングがなされているか、統一されているか。
- ・ダイナミックレンジ
音量に関しての解釈が統一されているか。
曲想を考慮した強弱の付け方ができているか。
- ・バランス
各楽器間の音量のバランスが、的確に決められているか。
- ・スタイル
楽曲のジャンルの特徴や、楽曲そのものの個性を、演奏者がいかに理解し表現しているか。
- ・ミュージシャンシップ
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

段階 1 (BOX 1)	段階 2 (BOX 2)	段階 3 (BOX 3)	段階 4 (BOX 4)	段階 5 (BOX 5)	
努力を要す 60未満	ふつう 60～69	良好 70～79	優良 80～89	優秀 90～100	

打楽器の技術 審査基準（クライテリア）

	基礎技術力	表現力
段階5	<ul style="list-style-type: none"> 奏法はほぼ完全に統一されており楽曲に対する配慮も適切で個人差を見つけるのはむずかしい。また個々の音色、音量に差がほとんどなく、全体的なアーティキュレーションの明確性に大きく貢献している。 楽器の特性をほぼ完璧に引き出す音作りがなされており、音域が効果的に設定されている。 同じ楽器間でのチューニングはほとんど完璧に調整されており、楽曲に対する配慮も適切で違和感な場面はほとんどない。 楽譜の解釈はほぼ完全に統一され、アーティキュレーションのミスはほとんど感じられない。 テンポ、タイミングに関する解釈が統一されておりこれらのミスはほとんどない。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法は多彩で幅広く、楽曲に対する深い理解と音楽性をほとんどの場面において感じ取ることができる。フレージングは音楽的で良く統一されている。 ダイナミックレンジは非常に幅広く、ほとんど乱れることなくコントロールされている。また、強弱の設定も適切で解釈もほぼ統一されている。 バランスは常に維持され、ppやffを演奏する場合でも乱れることはほとんどない。また、パートやセクションとしての豊かなサウンドを形成している。 楽曲のスタイルや特徴を充分に理解している。音楽の個性を活かした表現を試み、ほとんどの場面で成功している。 ミュージシャンシップに満ちており、観客にその音楽をアピールしようとする姿勢が強く感じられる。また、ほとんどの場面において奏者の意図する内容が明瞭に伝わる。
段階4	<ul style="list-style-type: none"> 奏法は多くの場面で統一され、楽曲に対する配慮もなされており個人差はほとんど見受けられない。また個々の音色、音量等も良くそろっているが、統一性の不完全さから、時折乱れを感じることもある。 楽器の特性をある程度引き出す音作りがなされており、音域は概ねバランス良く設定されている。 楽譜の解釈は多くの場面で統一されているが、アーティキュレーションのミスが時折ある。 同じ楽器間でのチューニングは概ねそろっているが、楽曲に対し適切でない場合が時折、見受けられる。 テンポ、タイミングに関する解釈は多くの場面で統一されているが、時折乱れを感じることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法は幅広いが、時折楽曲の理解が不十分に感じられる場面もある。また、フレージングも音楽的で適切だが、それらが損なわれたり、乱れたりする場面もある。 ダイナミックレンジは広く、多くの場面でコントロールされているが、乱れを感じる部分もある。また、強弱の設定は概ね適切だが、不自然に感じることもある。 バランスは多くの場面でうまく維持されるが、やや乱れてパートやセクションでうまくそろわないこともある。 楽曲のスタイルや特徴を概ね理解し、その個性を活かした表現を試みているが、成功しないこともある。 ミュージシャンシップを感じる事ができ、観客にその音楽をアピールしようとする姿勢が感じられるが、奏者の意図する内容が伝わり切らないこともある。
段階3	<ul style="list-style-type: none"> 奏法はある程度、統一されているが、グリップ、フォーム、スティックハイト等の調整に不足を感じる。 楽器の特性をある程度引き出しているが、若干の違和感がある。 楽譜の解釈はある程度統一されているが、アーティキュレーションにミスが生じる。 同じ楽器内でのチューニングはある程度そろえられているが十分ではない。 テンポ、タイミングに関する解釈はある程度統一されているが、不正確な部分が少なくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法にある程度の幅を感じ取れるが、楽曲の理解に不足を感じる。フレージングは音楽的にやや不十分で乱れることが多い。 ダイナミックレンジはやや狭く、コントロール不足が目立つ。強弱の設定はある程度なされているが、解釈に統一感がなく違和感がある。 バランスはある程度維持されているが乱れも目立ち、パートやセクションでそろわないことが多い。 楽曲のスタイルや特徴をある程度理解しているように思われるが、その表現に成功しないことが多い。 ミュージシャンシップはやや弱く、観客にその音楽をアピールしようとする意図する内容が伝わり切らない。
段階2	<ul style="list-style-type: none"> 奏法に関する基準が不十分で、グリップ、フォーム、スティックハイト等がふぞろいなため、個々の音色、音量に違いが出てしまっている。 使用している楽器の特性を引き出そうとする努力が不足しており、楽曲の特徴を考慮した楽器の音色に不自然さを感じる。 楽譜の内容に関する解釈が不十分で、ミスが多いため明瞭さが不十分である。 同じ楽器内でのチューニングにバラツキが感じられる。 テンポ、タイミングに関する解釈が不十分で、正確さに欠ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法の幅が狭く、楽曲の理解も浅く不十分である。演奏の努力は認められるが音楽的な表現が不足しており、フレージングに対する認識もあまり感じられない。 ダイナミックレンジは狭く、あまりコントロールもされていない。強弱の設定も不明瞭である。 バランス設定が的確に決められていないため、各楽器のサウンドにバラツキを感じる。 楽曲のスタイルや特徴に関する理解が浅く、不十分である。奏者の意図も観客にうまく伝わらない。
段階1	<ul style="list-style-type: none"> 奏法に関して基準があるように見受けられない。またグリップ、フォーム、スティックハイト等がふぞろいで、統一感が感じられない。 使用している楽器の特性が全く引き出されていない。また、楽曲の特徴を考慮した楽器の音色が引き出せていない。 楽譜の内容に関して個々の解釈、演奏がまちまちで明瞭さが無い。 同じ楽器内でのチューニングが全くそろっていない テンポ、タイミング等の解釈がバラバラである。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法やフレージングに関して、統一された解釈があるようには感じられない。 ダイナミクスやバランスに対する認識があるようには感じられない。 楽曲に対する理解が感じられず、何かを伝えようとする姿勢が見受けられない。

マーチングバンド部門 審査内容
高等学校・一般の部

演技の技術（カラーガードを含む）

基礎技術力

演技者の基礎技術力がいかに優れているかを、カラーガードの技術を含め、個々のプレーヤーもしくはグループに関して判断する。（動くすべてのセクションを対象としてサンプリングする）

- ・スタイルの統一と適応
フォワードマーチ，リアマーチ，マークタイム，停止姿勢，ターン方法等が統一されているか。また，その動作が演奏することに適しているか。
- ・動作の転換とタイミング
全ての連続動作が正確でスムーズに行われているか。
- ・楽器，手具等の保持および使い方
演奏・演技を行うにあたり楽器や手具等が適切に使われているか。
- ・リカバリー能力
ミスに対して適切な対応ができているかどうか。

達成度と表現力

演技者の表現力がいかに優れているかを、カラーガードの技術を含め、個々のプレーヤーもしくはグループに関して判断する。（動くすべてのセクションを対象としてサンプリングする）

- ・列，および間隔のそろえ方
列をそろえるにあたり，その基準を理解しており，その上でそろえられているか。また，間隔（インターバル・ディスタンス）の取り方を理解しているか。
- ・ボディーワーク
演奏されている音楽に適した表現がなされているか。
- ・手具等の表現
手具の扱い方や振付けが音楽に適した表現がなされているか。
- ・ショーマンシップとコミュニケーション
観客を意識し，アピールしようとする姿勢が一貫しているか。また，表現を通して観客との対話がなされているか。

段階 1 (BOX 1)	段階 2 (BOX 2)	段階 3 (BOX 3)	段階 4 (BOX 4)	段階 5 (BOX 5)	
努力を要す 60未満	ふつう 60～69	良好 70～79	優良 80～89	優秀 90～100	

演技の技術（カラーガードを含む） 審査基準（クライテリア）

	基礎技術力	達成度と表現力
段階5	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢、動作等のスタイルは、ほとんど統一されており洗練されている。 動作、タイミングは良くそろっている。 楽器、手具等の持ち方、操作の仕方はほとんど統一されており洗練されている。 ミスのリカバリーが早く正確である。 	<ul style="list-style-type: none"> 列や間隔の乱れがほとんどなく、あったとしても気にならない程度。 ボディワークの表現は、ほとんどが音楽に適しており、素晴らしい。 手具の表現は、ほとんどが音楽に適しており、素晴らしい。 ショーマンシップが高く、音楽に最も適した表現が良くできており、アピール度も高く感銘できる。
段階4	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢、動作等のスタイルは多くの場面で統一されており演奏演技するのに適した動作になっているがばらつきが生じる部分もある。 動作、タイミングは多くの場面でそろっているが、細かいところではばらつきが生じる部分もある。 楽器、手具等の持ち方、操作の仕方は多くの場面で統一されている。なおかつ演奏、演技に適しているが、ばらつきが生じる部分もある。 ミスのリカバリー速度は普通であるが、正確である。 	<ul style="list-style-type: none"> 列や間隔の乱れがあまりなく整理されているが、クリーニング不足の部分もある。 ボディワークの表現は、多くの場面で音楽に適しているが時折乱れる事がある。 手具の表現は、多くの場面で音楽に適しているが時折乱れる事がある。 多くの場面で音楽に適した表現ができており、アピール度も高いが違和感の部分もある。
段階3	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢、動作等のスタイルを統一しようとしている基準は認識でき、演奏演技するのに、ある程度適した動作になっているがふぞろいな部分が見受けられる。 動作、タイミングは理解しているようだが、ふぞろいな部分が見受けられる。 楽器、手具等の持ち方、操作の仕方の基準は認識でき、演奏演技には、ある程度適しているがふぞろいな部分が見受けられる。 ミスのリカバリーが遅い。 	<ul style="list-style-type: none"> 列や間隔を揃えようとする意識は見受けられるがクリーニング不足である。 ボディワークの表現は、ある程度音楽に適しているが違和感の部分も見受けられる。 手具の表現は、ある程度音楽に適しているが違和感の部分も見受けられる。 音楽をある程度意識しているが、アピール度が十分でないため表現不足を感じる。
段階2	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢、動作等のスタイルを統一しようとしている基準は見受けられるが、かなりふぞろいが目立ち統一感が弱い。また演奏演技に適した動作になりきれしていない。 動作、タイミングを合わせようとする努力は時折見受けられるが不十分である。 楽器、手具等の持ち方、操作を統一しようとする基準は見受けられるが、かなりふぞろいが目立つ。 ミスを自覚しているがリカバリーしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 列や間隔を揃えようとする意識が弱いためきれいにそろわない。 ボディワークの表現は、ふぞろいが目立ち、表現力が乏しい。 手具の表現は、ふぞろいが目立ち、表現力が乏しい。 音楽に合わせて表現しようとする意識やアピール度が弱い。
段階1	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢、動作等のスタイルが全く統一されていない。また演奏演技するのに適した動作になっていない。 動作、タイミングが全くバラバラである。 楽器、手具等の持ち方、操作の仕方が統一されておらず演奏演技するのに適していない。 ミスしている自覚がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 列や間隔をそろえようとする意識があるように見受けられない。 音楽に合わせて表現しようとする意識があるように見受けられない。